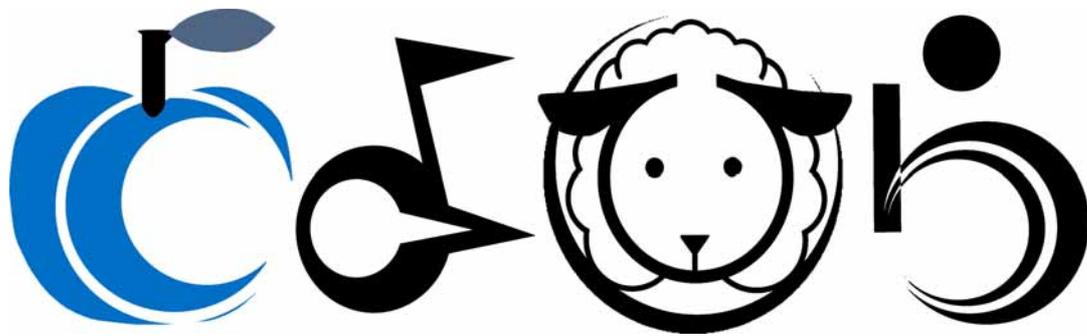


このロゴは、平岸高校デザインアートコース ^{すぎたあかり} 杉田明香里さんの作品です。



編集

豊平区役所総務企画課広聴係

〒062-8612

豊平区平岸6条10丁目

☎822-2407 ㊚813-3603

とよひら元気印 (第78回)

みうら とみあき
三浦 富章 さん (77)

みちこ
美智子 さん (73)

アトリエ&ギャラリーMIURA 豊平区中の島在住

住宅街にギャラリーが!

三浦さんご夫婦が作品を無料公開している「アトリエ&ギャラリーMIURA」。中の島にある館内には、細部まで作り込まれた紙工芸や、写真と見間違えるほどの絵画が所狭しと並んでいます。「描きたい風景や作りたいものが多すぎて、作品がどんどん増えていきます。飾る場所が足りませんよ」と富章さんは笑います。

今年で開館から10年。美智子さんは「作品を皆さんに見てほしいんです。お友達を連れて来てくれる人がいると、やってよかったなと思いますね」とうれしそうに語ります。



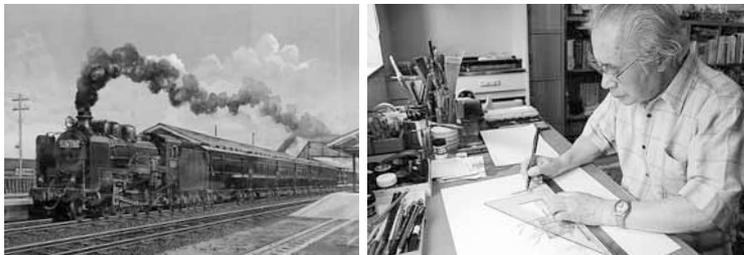
納得がいくまでこだわり抜く

富章さんは建築デザイナーとして札幌市地下鉄などの建設に携わってきました。「全ての要素や要望を把握して、イメージが伝わるように完成予想図を描くんです。図面だけでは雰囲気は分かりませんから」と語ります。引退後も当時の経験は創作活動に大きく役立っています。

展示品の絵画は全て富章さんの作品ですが、紙工芸は美智子さんとの共作。「作りながら紙の様子に合わせてどんどん計画は変わります。図面通りにはいきません」と富章さんが言えば、「納得のいくものができるまで、本当に何度も試作品を作るんです」と美智子さんが楽しそうに応えます。

二人の作品に刺激を受けたお客さんから、年賀状や紙細工制作の講習会を頼まれることも。「皆さんと話しながら作るのが楽しいので歓迎です」と二人はほほ笑みます。

「オリジナルのものを一から作っていくのが好き」と語る二人。これからも新しい作品を見せてくれることでしょう。



▼富章さんが好きだと言うSL。展示品のほかにまだ何十枚もあるとか。

▲風景画の作業中。手間を掛けて、丁寧に仕上げていきます。

▲日本和紙工芸協会作品展で審査員特別賞を受賞した「国技大相撲」。1/20スケールの両国国技館と150体もの人形は全て紙製!

▶同作品展で銀賞の「兜」。これも主な素材は紙。本物の兜と同じ造形にこだわった、見応えある一品です。



アトリエ&ギャラリー MIURA

所在地 中の島2条9丁目

見学情報 観覧可(不定休)

お問い合わせ ☎831-5056

観覧希望、講習会希望の方はまずはお問い合わせを。

豊平区ホームページ「夢ひらく 花ひらく とよひらく」
<http://www.city.sapporo.jp/toyohira/>

豊平区ラジオ広報番組「豊平インフォメーション」
FMアップル76.5MHz 毎週木曜日15時~



豊平区の人口・世帯数		
人口	216,886人	(+121)
男	100,961人	(+71)
女	115,925人	(+50)
世帯数	111,995世帯	(+94)
(7月1日現在。()内は前月比)		

